

平成27年度1%システム採択事業

単位(円)

単位(円)

事業名		団体名	事業内容	応募額	採択金額	交付決定額	確定額
一次	1. 市民健康増進事業「第4回津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	市民の健康増進と親睦交流を図るため、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く健康増進事業を実施する。多くの参加者にウォーキングの素晴らしさを体感してもらうとともに、岩木山の紅葉の絶景と弘前市の魅力を全国に発信する。	460,000	460,000	460,000	460,000
一次	2. 若葉町会納涼祭り	若葉町会	津軽ダム工事の際に引っ越してきた住民と、元から地域に住む住民が交流するために行われるようになった納涼祭りを継続して開催する。家族で楽しみ、地域の高齢者や高齢者施設の利用者など多くの人が交流し親密に触れ合うことができる祭りにし、子どもたちが準備段階から祭りに関わることによって、地域内の連帯意識の向上を図り、町会活動の活発化や地域内の防犯対策につなげる。	79,000	79,000	79,000	75,000
一次	3. ラベンダーロード再生事業	相馬地区小・中学校PTA連絡協議会	昨年、管理が行き届かず、美しさを保てないいたラベンダーを、綺麗な花を咲かせるように剪定をしたが、株ごとがない箇所が目立つため、今年は相馬小・中学校の児童や生徒と地域の住民が一緒になって、花壇にラベンダーを植え、荒れた花壇を再生し、維持管理をしていくことで、地区内の景観の保全を図る。	179,000	179,000	179,000	177,000
一次	4. 環境教育用だんぶり池下敷き作成活用事業	ひろさき環境パートナーシップ21	いろいろな生きものに触れることができる「弘前だんぶり池」で見られる生きものの中でも、池の名称の由来でもある「トンボ」を紹介した下敷きを作成し、だんぶり池での観察のポイントがわかる資料として活用する。市内の小学校5年生全員をはじめ、だんぶり池で観察活動を行う人たちに配布することで、生きものへの愛着を持ち、自然保護や失った自然を取り戻す活動の意義を広く知ってもらう。	191,000	191,000	191,000	191,000
一次	5. おかえり野菜ボックスでCO2と市民税支出を減らすプロジェクト事業	特定非営利活動法人もったいないつがるの会	家庭で発生するごみの焼却費用と二酸化炭素の減少のため、生ごみを堆肥化するタンポポルコンポストのモニター（一般家庭向け）を募集し、堆肥づくりを実践してもらいながら生ごみの減少を目指す。モニターからは、作った堆肥のうち2kgずつを提供してもらい、集まった堆肥を市内の介護施設等の花や野菜の栽培をしている団体に贈呈し、栽培に役立ててもらう。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	6. 五代町会夏祭り&ほたる鑑賞会	五代町会	ホタルが一番多く発生する時期に合わせて、夏祭りとホタルの鑑賞会（学習会）を行い、祭り当日には、ホタルが生息する水路の源である堤を清掃するなど、住民全体で地域内の環境整備を図る。また、参加者からホタルに関する絵画や習字などの作品を募集し、施設に展示するなど、鑑賞会を一過性のもので終わらせないような取組みを始める。	129,000	129,000	129,000	125,000
一次	7. 世界一の桜並木道をノルディック・ウォーク	青森県ノルディック・ウォーク連盟	比較的気軽に、誰でも取り組めるスポーツとして、2本のストックを使って歩く「ノルディック・ウォーク」の普及を図るために開催する。コースは7kmと18kmの2つを設け、世界一の桜並木や水芭蕉、文学碑などを観賞し、蕨を満喫してもらいながら、運動不足の解消や生活習慣病対策などの機会を創出する。	266,000	266,000	266,000	250,000
一次	8. 第2回「住み慣れた地域で最期まで」を支え合う街づくり講演会 私の防災活動、私が街にできること	ひろさきナラティブ.net	医療が必要な状態となっても地域でその人らしく暮らしていけるように、市民が積極的に関わっていけるような市民主体の地域包括ケアのまちづくりを目指す防災・減災活動の講演を開催する。参加者一人一人が自分が街を守るためにできることを考え、高齢者を支える防災社会のあり方について理解する機会とする。	327,000	327,000	327,000	250,000
一次	9. 環境美化事業梶子町会環境美化「花いっぱい運動」	梶子町会	町会の青年部、成年部、女性部、子ども会、高齢者対策部が中心となり、町会総出で実施した「花いっぱい運動」を引き続き実施する。町会の大通りの他、町会を東西に延びる校線の住宅沿いにプランターを設置し、集会所や町内にある花壇や、プランターに苗花を植えることで、地域の環境美化を図るとともに、住民同士の交流と親睦、相互扶助の活動的な明るい町会をつくる。	120,000	120,000	120,000	116,000
一次	10. 大仏公園紫陽花まつり	石川町会	町会内にある大仏公園と、公園内に咲く紫陽花を広く市民に知ってもらうため、「紫陽花まつり」を開催する。公園内の各所にクイズポイントを設置したり、俳句や川柳の投函してもらい、公園内に展示するほか、紙ひこうき大会や祭りを盛り上げるための余興を行うことで、より多くの市民に大仏公園に足を運んでもらう。	390,000	390,000	390,000	390,000
一次	11. 奈良岡朋子朗読会「黒い雨」	演劇鑑賞会 弘前市民劇場	弘前に縁があり、弘前に対する思いも強い女優の奈良岡朋子さんを迎え、『黒い雨』の朗読会を開催する。戦後70年となる今年8月に、『黒い雨』の朗読のみならず奈良岡さん自身の戦争体験等を語ってもらうことで、戦争を知らない若い世代を含めた市民が、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えもらえる機会を創出する。	500,000	500,000	500,000	447,000
一次	12. ～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後444年祭	和徳歴史探偵団	和徳町の地域には、むかし、和徳城があったことや、その城主である小山内讃岐守が大浦為信によって落城された歴史を持ち、落城前に兵士たちが食べたことされた「けの汁」の発祥の地とされていることを、次代を担う子どもたちに伝え和徳の活性化につなげるため、郷土料理でもある「けの汁」コンテストを開催するほか、和徳の歴史を掲載した歴史マップや展示パネルを作成する。	500,000	500,000	500,000	488,000
一次	13. 弘前さくらコンサート	Rainbow Muse Hirotsaki	質の高い音楽に触れてもらう機会を創出するため、子どもから大人までの演奏を交えたコンサートを開催し、楽曲の持つ音楽の背景や、音楽の楽しさを知ってもらう。このコンサートを機に、生涯教育としても音楽に触れてもらうように、ピアノのソロ・デュオ・アンサンブル等の幅広い音楽の楽しみ方を知ってもらう。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	14. 乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	乳井町会内で放棄され崩壊寸前だった史跡である茶臼館、ホタルが集まるため池の沿道整備・階段補強や護岸杭打ちなどの整備を行う。地域のこども会や海防団、老人クラブ等の参加を図りながら茶臼館からの絶景を見る会やホタルの鑑賞会、歴史勉強会を実施することで、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていく。	300,000	300,000	300,000	179,000
一次	15. 湯口交差点「花いっぱい運動」	JA相馬村女性部	旧相馬村の地図が掲示され、観光バスも頻繁に通る湯口交差点を、湯口地区の老人クラブや湯口地区会と一緒に苗花を植えたプランターを設置する「花いっぱい運動」を引き続き実施する。活動を続け、参加者を増やすことを目標に、地域で湯口交差点の環境美化に取り組む。	54,000	54,000	54,000	45,000
一次	16. 甑れ、雑種地から交流農園へ（2期事業）	向外瀬町会	近年、地域住民の交流が希薄化していることから、地域内にある雑種地を近隣住民のいこいの場として活用していただくため、地域住民の手で地域の交流農園として整備する。また、昨年整備を行った土地の一部は、地域にある保育園の園児などに利用してもらい、交流を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000

平成27年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

一次	17.	津軽の囃子文化育成事業	津軽笛地域づくり実行委員会	ねぶたや立佞武多、登山囃子などの津軽の笛や担ぎ太鼓、手摺鉦などのワークショップや、津軽の獅子芸能と津軽笛の共演コンサートを開催する。津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等での笛指導者のレベルアップと指導力アップを図り、津軽笛の奥深さを感じてもらおう。	500,000	500,000	500,000	500,000
一次	18.	弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	ストレスが多い現代社会において、多くの市民の健康と生きがいづくりを目的に、自然環境に恵まれている「市民の森」での各種健康法（森林療法、園芸療法、芸術療法）の体験や、収穫した野菜を活用した料理教室を行う。また、「ストレスと病気」をテーマとした健康セミナー・健康相談や、「ゲートキーパー」に関するセミナーを開催し、健康についてや心身の健康について知ってもらう機会を創出する。	170,000	170,000	170,000	170,000
一次	19.	ひろさきアフタースクール～「地域の力を取り込んだ放課後づくり」プロジェクト～	あんよ・せらびー共育研究会	市内の子どもたちが安全・安心に過ごせる放課後をコーディネートするため、平日の放課後に小学校の空き教室を利用した英語のレッスンや、学校の休日に本物に触れる多様な体験プログラムを実施する。また、今後子どもたちを地域で見守る人材を増やすため、放課後の子どもたちとの関わり方等を学ぶ人材育成講座を開催する。	428,000	428,000	428,000	337,000
一次	20.	第3回弘前城リレマラソン	特定非営利活動法人スポネット弘前	行事が少ない6月の弘前公園を会場に、5～21人のチームが1周2kmのコースをタスキリレーでつなぎ、42.195kmを走破する「弘前城リレマラソン」を開催する。個人出場者で構成するチームや、地域コミュニティチーム、女性チームなどの部門を作るなど、少し運動してみたい人から本格的に走る人まで、様々なコースに対応したリレマラソンを実施することで、市民の健康増進やスポーツ人口の増加を図ると共に、スポーツツーリズムを推進する。	363,000	363,000	363,000	363,000
一次	21.	過疎地域スポーツ推進事業「スポーツケンキッズ教室」	特定非営利活動法人スポネット弘前	少子化で部活動やスポーツ少年団もなく、運動をする環境がない地域の小学生のために、地域に出向いて定期的なスポーツ教室を開催する。送迎車を用意し、近隣の小学校に子どもたちを集めて運動することで、他校の生徒との交流を通して子どもたち自身のコミュニケーション能力の向上や、スポーツに親しむことを通じて地域全体を巻き込んだ形で地域の活性化を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	22.	自得小学校の学習田通用道路舗装整備事業	鬼沢第1町会	自得小学校の児童が学習田として活用している水田へ向かう砂利道の砂利が昨年の集中豪雨により、学習田や周辺の水路へ流入したことや、道に傾斜があり、子どもが転倒してけがすることを防ぐため、地域住民でコンクリートによる舗装整備を行う。	385,000	385,000	385,000	380,000
二次	23.	大開町会納涼祭り	大開町会	地域住民同士の親睦をより一層深め、まちづくりの基本となる団結心を育むため、納涼祭を開催する。準備の段階から小・中学生を対象に手描きのポスターを募集したり、三味線・手踊りといった伝統芸能を間近で感じることができる場を設け、多世代の交流を図る。	114,000	114,000	114,000	111,000
二次	24.	町会さなぷりイベント	笹館町会	これまで行われてきたゲートボール大会が行われなくなったことから、農作業が一段落したころに、室内でもできるイベントを開催する。町会内の各団体による地域住民が気楽に参加できる催しや昔懐かしい人形劇上演などを行い、地域住民同士の絆を深め、若い人も町会の行事等に参加する機会を増やす。	95,000	95,000	95,000	92,000
二次	25.	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業「第2回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会	今日の子どもたちが失いつつある日本の伝統的文化と昔の遊びに親しむ機会を創出し、時敏地区内の子どもたちと高齢者がふれあうことで世代間交流を図ると共に、地域の大人が協力して地域の子どもたちの健全な成長を培うことに対する理解を繋げる。	342,000	342,000	342,000	342,000
二次	26.	大沢サマーフェスティバル	大沢サマーフェスティバル実行委員会	これまで実施してきた祭りが年々マンネリ化してきており、参加者が減少していることから、祭りの中でもメインとなるようなイベントを開催する。地域住民が一室に会し、交流を深め、地域活性化を図ることにより、お互いの顔が見える関係を作り出し、自主防災などの活動にも役立てていく。	209,000	209,000	209,000	209,000
二次	27.	弘前から乳がん受診率50%達成発進！！&ケア帽子でがん患者をサポートしよう！！	ほほえみネットワーク	弘前市の乳がん検診の受診率は、全国平均よりも低いことから、がん患者のケア帽子作りや講演会、美しいヨカ教室、カルチュアロードでの啓発活動を行う。乳がんに対する正しい知識を普及し、もっと自分に関心を持ってもらうことで乳がんの早期発見を促す。	171,000	171,000	171,000	154,000
二次	28.	手造り屋台村	小沢地区屋台村実行委員会	参加者の減少により50年続いた運動会が終了となったことから、地域住民がそれぞれに手造りの屋台を出展する「手造り屋台村」を開催する。屋台のほか、子どもから高齢者まで楽しめるイベントも実施し、地域内の活性化を図るとともに、地域住民の親睦を深め住みよい環境をつくる。	295,000	295,000	295,000	295,000
二次	29.	第2回 日本・台湾友好音楽祭	弘前市民俗芸能保存連合会	姉妹会を締結している弘前市民俗芸能保存連合会と台湾月琴民謡協会が音楽祭を開催する。伝統音楽や台湾文化を肌で感じていただくため音楽交流コンサートや月琴ワークショップを行うことで、音楽を通じて国際交流事業への発展につなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	30.	津軽民謡りんご節世界大会	津軽民謡りんご節世界大会実行委員会	青森りんごの宣伝用として作成され、津軽の四季折々の情景が歌いこまれた民謡であるりんご節の大会「津軽民謡りんご節世界大会」を開催する。未経験者や経験年数が少ない人でも参加できる機会を設け、多くの人に伝統文化に親しむ機会を増やすことで、民謡の普及を図る。また、審査員による民謡や三味線合奏、手踊りのショーを実施することで津軽の伝統文化を県内外に発信し、伝統継承と地域文化の活性化を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000

平成27年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

二次	31.	「組ねぶた制作技能継承事業—組ねぶたを見直そう—」	弘前組ねぶた参加団体協議会	江戸時代から津軽地方で制作されてきた伝統的な組ねぶた灯籠の様式である組ねぶたを作る団体が年々減少してきていることから、組ねぶたを制作する技法の分析や整理を行い、マニュアルを作成し組ねぶたを作成する団体等に配布することで、組ねぶたの技術の伝承を図る。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	32.	第11回「話してみよう韓国語」青森大会	「話してみよう韓国語」青森大会実行委員会	韓国語のスピーチ、スキット、自由発表を対象に大会を行う。初めての人でも気軽に出場できる環境をつくることによって韓国語に興味をもってもらい、通訳ボランティアを育成し、そこから弘前市のインバウンド観光につなげる。	143,000	143,000	143,000	143,000
二次	33.	弘前駅前遊歩道賑わい祭 JAZZ DAY 収穫祭	弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会	弘前駅前公園及び遊歩道の週末の散策者・通行者が減少していることから、これらの場所を訪れたことがない市民が街歩きをするきっかけを作り出すため、市内外のJAZZバンドを多数招致し、ストリートライブ及びコンサートを開催する。イベントをきっかけに、より多くの市民が駅前の利便性に気づき、遊歩道を活用する人が増加することにより、地域の活性化へつなげる。	500,000	500,000	500,000	500,000
二次	34.	ふるさと・相馬、戦後70年記念プロジェクト	戦後70年記念プロジェクト実行委員会	戦後70年を迎え、地域でも何かできることはないかと考え、厳しい時代を生きた人々の想いを感じ、その昭和の時代を子どもたちにも伝えていくため、地域にある長慶天皇御陵参考地一帯でイベントを開催する。栗山子コンテストや灯籠流し等を行うことで、地域で大切にしている場所を広く知ってもらい、市民に足を運んでもらうきっかけを作る。	300,000	300,000	300,000	300,000
二次	35.	「あのね、知ってる?ここにもフランス」プロジェクト	弘前グローバル・アクション	弘前とシードルの技術協定を結ぶフランスのブーヴロンの取材から得たことを広く市民に知ってもらい、「シードルの街弘前」について地域の人に理解を深めてもらうため、フランス風マルシェを開催し、展示やワークショップ等を行う。また、リーフレットを製し、弘前でフランスとつながりがある人や店等の頑張りを発信する。	445,000	445,000	445,000	390,000
二次	36.	第13回ホームムービーの日	HMD弘前	個人所有の8ミリフィルムにも、数十年前の弘前の様子がわかる映像が存在することから、弘前の貴重な映像を、史料として後世に残していくため、家庭に眠るフィルムを上映する「ホームムービーの日」や、希望する町会への巡回上映・昔の写真を使っての街歩き等、各種イベントを開催する。市民に映像史料の大切さを実感してもらうことにより、家庭に残るフィルムを残そうとする意識を高める。	491,000	491,000	491,000	491,000
二次	37.	国吉町会山岸堰改良事業	国吉町会	町会を流れる山岸堰は、防火用水・融雪用水・農業用水として利用されているが、春先の融雪時や豪雨時の際に水が溢れたり、決壊の恐れがあるため、U字溝を購入し、地域住民で改修工事を行う。(6.8mを改良する。)	330,000	330,000	330,000	330,000
二次	38.	岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	岩木山は美しい山であるのに、登山客やトレkkerから山中に廃棄物が目立つという話が多く寄せられている。美化活動・エコフォーラムのほか、写真展などの啓蒙啓発活動に力を入れることにより、弘前市民の環境問題に対する意識の向上とエコ活動の浸透を図る。	500,000	500,000	500,000	447,000
三次	39.	HIROSAKI STREET 2nd	HIROSAKI STREET 実行委員会	近年、弘前市で人気を集めているストリート文化を発信するために、蓬萊広場でバスケットボールの3on3の大会を行う。そのほかにもスケートボードやダンスなど様々なジャンルのストリート文化を紹介する場を設ける。土手町に市民を動員することで、中心街の活性化につなげる。	500,000	500,000	500,000	484,000
三次	40.	子どもの健康づくり事業	美育・食育 はなか	子どもを対象に、「美の心」、「豊かな心」を育てる美育と、元気になる食事を学びながら作って食べることを楽しむ食育を行い、子どもたちの心と体が健やかに成長するために役立つプログラムを提供する。心の健康と将来の生活習慣病の予防につなげる。	75,000	75,000	75,000	51,000
三次	41.	豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	行政の委託業者による除排雪が追いつかないという状況の中、平成25年3月には雪ですり鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生した。事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体にして地域内にある除雪機を利用し、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する。	135,000	135,000	135,000	46,000
三次	42.	「グッド・トイ2015inひろさき」の開催	青森グッド・トイ委員会	子どもたちだけでなく、障がいを持った方や高齢者を対象に、良い玩具(特に木製)の展示や、玩具で自由に遊ぶことができるスペースを提供し、優良な玩具の選び方を知ってもらい、リハビリなどにも効果があることを知ってもらう。また、子育て支援や療育などの専門家向けの基調講演やワークショップを行い、木製製品が高齢者や障がいのある方に与えた効果についてや、グッド・トイとは何かについて学ぶ機会を創出する。	500,000	500,000	500,000	417,000
三次	43.	イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブスマイル	毎週木曜日に健康体操ダンスや、日頃の悩みや生活に役立つ情報交換等ができる場を提供することや、年間行事としてコンサートや弘前に関する教養講座を実施することで、心と体の両面からのアプローチし、明るく健康で、生き生きとした生活を送る高齢者をより増やしていく。	255,000	255,000	255,000	230,000

平成27年度「弘前市市民参加型まちづくり1%システム」採択事業一覧

三次	44.	「第2回弘前城Q&R」開催事業	弘前城Q&R実行委員会	若者の健康増進や、ボランティアとしての社会参加のきっかけづくりのため、本丸を含む弘前公園で、バラエティー番組「逃走中」をもとにしたイベントを行う。弘前に関係のあるクイズや、弘前の魅力を再発見できるようなミッションを準備することで弘前市への興味・関心の向上を図る。	313,000	313,000	313,000	313,000
三次	45.	ナイナイナイトプロジェクト「どん舞」	弘前ナイナイナイト実行委員会	弘前には夜の時間を生かしたイベントが少ないことから、誰でも参加でき、一体感を楽しめる創作盆踊りのイベントを開催する。このために作詞・作曲・振り付けをした盆踊り「どん舞」をみんなで輪になって踊り、弘前の新しい夜の楽しみ方を発信するとともに、さまざまな人が交流するきっかけを創出する。	397,000	397,000	397,000	379,000
三次	46.	心も身体も健やかに。ヨガと食のミニセミナーのイベント	津軽美人プロジェクト	津軽美人のパワーで、弘前のまちを元気に明るくすることや、地域の女性が何かアクションを起こすきっかけの場づくりなどのため、団体メンバーの得意分野であるヨガのレッスンと食のミニセミナーを開催する。健康に対する意識と知識を養ってもらい、自分らしさを大切に女性を増やすことで、それらが周りにも伝わっていき、生活習慣病の予防や短命県返上につなげていく。	226,000	226,000	226,000	178,000
三次	47.	大鱈線DEハロウィン&コスプレイベント	西弘×大鱈線 ハロウィン&コスプレイベント実行委員会	存廃問題が続いている弘南鉄道大鱈線の存続を考えるうえで、まずさまざまな人に利用してもらうことを目的に、ハロウィン当日に大鱈線大沢研修庫を会場としたコスプレイベントを開催する。参加者には、大沢研修庫内を開放したり、大鱈線主要駅にハロウィンの装飾を施したりすることで、写真撮影等で楽しんでもらうほか、沿線飲食店には屋台を出店して店舗をPRしてもらうことで、今後の大鱈線利用につなげていく。	402,000	402,000	402,000	361,000
三次	48.	三浦雅士文化講演会「現代文学における弘前」（仮称）	弘前ペンクラブ	弘前は、太宰治や石坂洋次郎などの広く国民に親しまれた作家を輩出しているまちであることから、市民を対象に文化講演会を開催する。弘前市出身で、日本芸術院会員である三浦氏の講演のほか、「現代文学と弘前」に関する資料を配付し、郷土の作家に対する関心を高めるとともに、愛着を持つ市民を育み、文化都市弘前というまちの魅力の向上を図る。	300,000	300,000	300,000	259,000
三次	49.	文化周知のためのイベント開催	ういっちゃんいむ!!実行委員会	ポップカルチャーに興味がない、知らない人に対して、楽しさや面白さを知ってもらい、理解してもらうためのイベントを開催する。ゲーム等のジャンルで活躍している3名の方を講師として招き、講演やワークショップを行ったり、一般の方に「初めて」を体験してもらうほか、多くの人が興味を持ちそうな企画や、他団体と連携を図りながら、ポップカルチャーの楽しさやおもしろさを伝えていく。	500,000	500,000	500,000	500,000
三次	50.	コミュニティシネマ事業「harappa映画館」	NPO法人harappa	中心市街地を会場として、まだ県内では上映されていないフランス映画や、北海道新幹線が開通することを記念して、函館市民からの働きかけで函館ロケが行われた映画の上映会を行う。映画教育の一環として、函館が舞台となった映画の企画をした方を招聘してティーチンを行い、より映画を楽しむ取り組みを実施することで地域住民に対する映像芸術、映画文化の普及と振興を図る。	400,000	400,000	400,000	352,000
三次	51.	岩木山南麓豪雪まつり	岩木山観光協会	「雪と遊ぼう」をテーマに、豪雪を活かした冬の岩木山ならではの内容のイベントを実施し、雪を楽しみながら過ごす機会を提供する。岩木山麓の各団体が協働作業により事業を実施することで、地域の団結を深め、地域活性化への意識を向上させていくほか、それらを市民や観光客にPRし、冬場の岩木山の楽しみ方を伝えていく。	498,000	498,000	498,000	498,000
三次	52.	トレイルランニングの普及と指導者養成	岩木山トレイルランニング実行委員会	昨年「岩木山トレイルランニングフェスティバル」を開催したところ、非常に好評だったことから、初心者から本格的にランニングをしている人までを対象とした講習会等を開催する。様々なニーズに対応した内容とすることで、スポーツ人口の増加を図り、多世代交流の促進及び市民の健康増進につなげていく。	474,000	474,000	474,000	0 ※1
合 計					17,751,000	17,751,000	17,751,000	16,315,000

※1 事業廃止

申請事業58事業 19,892千円  
採択事業52事業 17,751千円  
交付確定事業 52事業 16,315千円